

THE RACING PIGEON
2023
JUNE
Vol. 771

レース鳩 6



特集 / 2023年 関東三大長距離レース!

—各レースベストテン入賞血統紹介&序列・各賞—
八郷・国際チャンピオン900K ルポ



20年アルジャントン(Ⅱ) N若鳩部門23,286羽中9位

(実距離564.205K / 分速1282.624m)

“ミスター・アルジャントン”

B20-6198615 BCW ♂ リック・ヘルマンズ作翔

現・内野賢一鳩舎(埼玉・埼玉三芳連合会)種鳩

“プロア・カノン”(ヨーロッパカップ中距離部門ベルギー1位“カノン”の全兄弟) ×

“フレンドシップ”(15年シャトローN44,293羽中最高分速)の直娘

異母兄弟 / “ティンキー”(※13年ヨーロッパカップオールラウンド部門1位他)

中&長距離のスーパーCHを導入! ある

リック・ヘルマンズの“ミスター・アルジャントン”&“グード・ファール293”、そして2023

20年アルジャントン(II)N若鳩部門23,286羽中9位

*他の翔歴は表紙参照

表紙 の 鳩

“ミスター・アルジャントン”

B20-6198615 BCW ♂ リック・ヘルマンズ作翔 内野賢一鳩舎種鳩

- “プロア・カノン” B09-6323130 ダニー・ファンダイク作
全兄弟/“カノン”(10年ヨーロッパカップ中距離部門ベルギー1位)
- B08-6298348 ヘルマンズ&ファンデンブランデ作
- “プロパー” B06-6212441 [“ヤールリング・ドンダースティーン”×“ヤンセン・ドイビン”]の孫
- “フランシオン” B05-6445543
“フィーネケ5000”の父娘掛け×[“ヤールリング・ドンダースティーン”×“ヤンセン・ドイビン”]の娘
- “タム・スワルフェ” B08-6297117 ダニー・ファンダイク作翔 08年アントワープ連盟若鳩AP賞1位
- B18-6194898 ヘルマンズ&フクストラ作翔

- “カウボーイ05” B15-6063305 リック・ヘルマンズ作翔
アルジャントンN11,223羽中15位、スूप2,031羽中11位他
“カウガール”(*11年オリンピックアード一歳鳩代表/
11年ブルジュN優勝)の直仔
- “フレンドシップ” B14-6058777 B
ヘルマンズ&フクストラ作 リック・ヘルマンズ使翔
15年シャトローN(1)1歳鳩部門25,617羽中優勝・
44,293羽中最高分速
- スूप1,987羽中優勝・6,134羽中最高分速
- NL12-1783897 ヤン・ホーイマンズ作
“ハリー”(*WHZB長距離AP賞1位)×
“ラストワン”(“ヤールリング・ドンダースティーン”×
“ヤンセン・ドイビン”)
異父兄弟の直仔/“グード・ファール293”(右頁掲)
- B12-6327841 デイルク・ファンダイク作
“オリンピックニールズ”(13年オリンピックアード代表)×
“カニパール”の直系&“ランボー”の重近親



★写真右が内野賢一氏、同左が“ミスター・アルジャントン”と“グード・ファール293”の作翔者であるリック・ヘルマンズ氏。

「最後の鳩人生」という覚悟! 集う中距離&長距離の大CH群!

父親(※内野睦夫氏)が生粋の愛鳩家であったため、内野賢一さんにとって「レース鳩」は物心ついた時から一緒にいた家族であり、当たり前の存在であった。鳩飼育は自然の流れであり、夢中になった90年代にはフリーベン父子の、ヨンダニアーツの筋で常勝街道を突き進み、競翔家としての名声を得たこともある。加えて、Vシネマの俳優顔負けのダンディな風貌とは裏腹に気さくで陽気なキャラクターから多くの鳩仲間にあやされており、人気者であった。

ここ近年は鳩レースを勝負事ではなく、趣味として楽しんできたものの、本物は五感を刺激するとはよく言ったものだ。グード・ファール293というリック・ヘルマンズ作翔の中距離大CHを掴んだことで、すでに消えかけていた競翔家としての灯が再燃する。

「去年の9月頃だったかな。友達の付き添いで、チャンピオン商事に遊びに行ったところ島村社長に掴んでみては? とこの1羽を差し出されましてね。手にしてみたらあまりにも素晴らしいので、この血で真剣に鳩レースをしたいという気持ちになりました」という内野さん。

即決でグード・ファール293をトレードすると、さらに戦力の大幅な切り替えにも着手した。ヨーロッパの銘血鳩に食指を次々と動かす中、とりわけこのシルバーに流れるヤン&リック・ヘルマンズ父子の基礎カップル「ヤールリング・ドンダースティーン」×「ヤンセン・ドイビン」に注目。そ

これは昨年行われたチャンピオン商事主催のロイヤルオークションで、グード・ファール293の相方にとパンフレットの裏表紙を飾ったスーパーCH「ハリー」や「オリンピックニールズ」、グイーネケ5000」といった名だたる世界的超銘鳩の因子を搭載しつつ、前述の基礎カップルのインブリードで作られたアルジャントンN9位「ミスター・アルジャントン」を落札するほどの熱量だった。

「このトリは気性が激しくケンカも強い。王者としての風格がありますね」。男としての本能を刺激したのか、内野さんにとつて今1番のお気に入りだという。さてもう1羽の推しグード・ファール293との配合は予定通りに進行。「ヤールリング・ドンダースティーン」×「ヤンセン・ドイビン」からして4重、かつ最後の娘「ラストワン」の近親交配となるこのカップルは、今秋から直仔を「選手」として使っていく意向だ。

一方、競翔家の原点にして頂点ともいふべき「1000K制覇」に向けての戦力集めにも余念はない。内野さんは、同社社長の吉原謙以知氏が昨年のロイヤルオークションにて1番の目玉と太鼓判を押した「チャンピオン商事Youtube」チャンネル参照、かつパンフレットの表紙を飾ったバルセロナ1323KのマラトンCH「ステルケ・バルセロナ」をなんとハンマープライス!

彼は現在62歳であり、今回の再始動を「最後の鳩人生」と位置づけている。その覚悟が読み取れるようなトレード劇であり、まさに乾坤一擲(けんこんいつてき)ともいふべき彼の物語——その行く末を見守りたい。